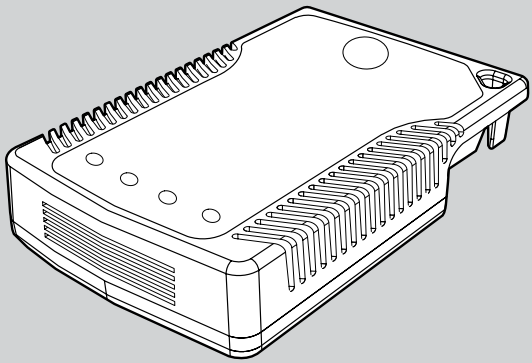
BUG
SAPPORO JAPAN

PitTouch™ Plus
ピットタッチ・プラス

取扱説明書

お使いになる前に 1
ケータイアクセスモード編 2
ケータイサーバアクセスモード編 3
勤怠/入退管理モード編 4
共通の設定編 5
付録 6



株式会社ビー・ユー・ジー

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本製品使用中での不具合または使用条件外での使用によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
! 重要	本製品をお使いいただくうえで重要な事項が記載されています。
MEMO	操作の参考となる情報や、補足説明が記載されています。

■取扱説明書の内容について

本書は「ピットタッチ・プラス」の取り扱いや操作方法について説明したものです。
携帯電話、パソコン自体の取り扱いや操作方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

■商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・プラス」は、株式会社ビー・ユー・ジーの登録商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ」「トルカ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
「au」は、KDDI株式会社の登録商標です。
「SoftBank」は、日本国およびその他の国における登録商標です。
JavaScript™は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス(株)の登録商標です。
Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft® Corporationの登録商標です。
その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

安全にお使いいただくために
必ずお読みください ·····2
ご使用にあたってのお願い ·····4

第1章　お使いになる前に

1-1 内容物の確認/本製品の特長 ·····7
1-2 機能の概要 ·····8
1-3 各部の名称とはたらき ·····10

第2章 ケータイアクセスモード編

2-1 ケータイアクセスモードの概要 ·16
2-2 本製品の設定 ·····18
2-3 トルカを配布するには ·····23
2-4 ブラウザを起動させる（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）には···25
2-5 メーラを起動させる（メールを簡単に送ってもらう）には·····27
2-6 本製品の音声を変更するには ··29
2-7 設定が終了したら ·····30

第3章 ケータイサーバアクセスモード編

3-1 ケータイサーバアクセスモードの概要 ·····31
3-2 本製品の設定 ·····32
3-3 本製品の利用方法 ·····39

第4章 勤怠/入退管理モード編

4-1 勤怠/入退管理モードの概要 ···40
4-2 本製品の設定 ·····41
4-3 本製品の利用方法 ·····48

第5章 共通の設定編

5-1 本製品をネットワークに接続するには ····49
5-2 設定を確認するには ·····50
5-3 モードを切り替えるには ·····52
5-4 設定をファイルに保存/保存した設定を再設定するには·····53
5-5 本製品のネットワーク状況を確認するには ····55
5-6 本製品のログを確認するには ··56
5-7 パスワードを変更するには ····57
5-8 時刻を設定するには ·····58
5-9 音声ファイルについて ·····59
5-10 初期化するには ·····63
5-11 本製品のファームウェアを更新するには·····65

第6章 付録

6-1 メインテナンス起動について ··67
6-2 トラブルシュート ·····69
6-3 用語集 ·····73
6-4 サポートについて/製品仕様 ···75
6-5 使用しているソフトウェアについて ····76
6-6 保証規定/保証書 ·····79

ご使用にあたってのお願い

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

●ご使用の際は取扱説明書に従って正しく取り扱いください。
●本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万一、本製品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してください。
●本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
●このソフトウェアおよび仕様、外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

⚠警告

・本製品は電波を使用したRFID機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。植込み型医療機器を装着されている方は、装着部位をRFIDアンテナ部（FeliCa読み取り部）より22cm以上離してご使用ください。

⚠注意

・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。本製品のACアダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めになった販売元へお問い合わせください。お客様による修理は大変危険ですから、絶対におやめください。
・本製品を分解したり、改造したりしないでください。発熱・火災・感電・故障の原因になります。

・誤って本製品を落下させたり、強い衝撃を与えた場合、内部の部品が外れる可能性があります。本製品を振ってカタカタという音がしたとき、あるいは本製品の動作が不安定なときは、本製品のACアダプタをコンセントから抜き、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・故障の原因になります。
・本製品の内部に水などが入った場合は、まず本製品のACアダプタをコンセントから抜いて、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・本製品の開口部をふさがないでください。発熱などにより、火災・故障の原因になります。
・本製品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり本製品の内部に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。
・ACアダプタを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、きつく束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、加熱したりするとACアダプタが破損し、火災・感電・故障の原因になります。ACアダプタが傷んだら、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
・ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電・故障の原因になります。
・本製品が薬品や有害ガスに触れないようにしてください。腐食する恐れがあります。また、本製品に有害な物質が付着することになり、人体に害をおよぼす恐れがあります。
・AC100V の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
・ACアダプタは本製品付属のものをお使いください。付属品以外をご使用になると、故障の原因となることがあります。
・電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
・ランプ用シールを飲み込んだりしないようにご注意ください。特に小さいお子様のいる家庭ではご注意ください。けがの原因となることがあります。

◎設置場所
・屋外での使用は、故障の原因になります。屋内でご使用ください。また、直射日光のあたるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
・冷暖房機器の近くや、通風口からの風があたるところに置かないでください。火災や故障の原因となることがあります。
・極端な高温または低温は、故障の原因になります。通常の室温（0～40℃）でご使用ください。
・結露するような場所で使用しないでください。温度差の激しい環境を急に移動した場合、本製品は結露する恐れがありますのでご注意ください。故障の原因になります。結露した場合、本製品を乾燥させるか、長い時間同じ環境に置いて結露を解消した後、ご利用ください。
・ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
・調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本製品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

・動作中は内部の温度が上がり、本製品の外側も熱くなるため、他の装置等の上に本製品を重ねて設置しないでください。また、ビニール製のものなどを本製品のそばに置かないでください。変色・変形の原因になります。
・ガス腐食等を伴う環境（塩・酸・アルカリ等）には置かないでください。故障の原因になります。
・強い磁場を伴う環境には置かないでください。故障の原因になります。
・各ケーブルは所定のコネクタに接続してください。接続を誤ると、故障の原因になります。
・本製品やケーブルが人体などと接触するような場所に置かないでください。ケーブルの切断の原因や、落下による本製品の故障の原因になります。
・高圧線や通信用アンテナのそばでは、正しく通信できないことがあります。

◎お使いのとき
・本製品の小さな穴を含むすべての穴に、異物を挿入しないでください。感電・故障の原因になります。
・ACアダプタを抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線・火災・感電の原因になります。
・ケーブルを抜き差しするときは、接続機器の電源を切ってから行ってください。火災・感電・故障・事故の原因になります。
・近くに雷が発生したときは、ACアダプタをコンセントから抜き、すべてのケーブルを外して、ご使用をお控えください。ケーブルの接続や切断、または製品の導入や保守の作業も行わないでください。雷によって、火災・感電の原因となることがあります。
・本製品の外装汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に軟らかい布を浸し、よくしぼってから拭き取り、さらに乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジンなどの揮発油アルコールなどを使用した場合、シート及びプラスチック等を傷める原因となることがあります。
・本製品に乗らないでください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。本製品が壊れて、けがの原因となることがあります。
・ステータス切り替えボタン、DIPスイッチを無理に強く操作しないでください。故障の原因となることがあります。
・本製品のACアダプタを抜いた後、再度ACアダプタを接続する場合には、10秒以上待ってください。瞬時にACアダプタを差すと、正常に本製品が動作しない場合があります。
・日本国以外で使用しないでください。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造されています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊す恐れがあります。また、当該国の法令に抵触する場合があるので、使用できません。
・本製品の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

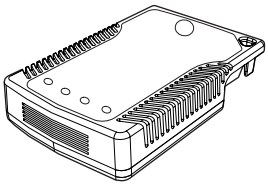
STOP お願い

・動作中に接続ケーブルなどがはずれたり、接続が不安定になると、誤動作の原因になります。コネクタをしっかり接続し、動作中は、コネクタの接続部に触れないでください。
・本製品のそばにピットタッチ・プラスなどのFeliCaリーダー/ライターやコードレス電話機、テレビなどの電子機器類を設置しないでください。電子機器類に雑音やノイズが発生したり、正常に動作しないことがあります。

第 1 章 お使いになる前に
1-1 内容物の確認/本製品の特長

本製品には、次のものが付属しています。お使いになる前に、すべて揃っているか確認してください。不足しているものがありましたら、お手数ですが、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

●ピットタッチ・プラス本体：1台



●取扱説明書（本書）：1冊（保証書付き）

●ACアダプタ：1本

型番　KSW0523

●ランプ用シール

※ ランプのところにご自由にお貼りください。

※ 別途、以下のマニュアルがあります。詳しくは販売元へお問い合わせください。

「サーバ送受信仕様書」：
ケータイサーバアクセスモード、勤怠/入退管理モードのピットタッチ・プラスとサーバとの通信に関する仕様書です。〈P.31〉〈P.40〉

「設定カード利用マニュアル」：
専用設定カード（別売り）で、1度に複数のピットタッチ・プラスを設定するためのマニュアルです。〈P.53〉

■特長

本製品はFeliCa対応非接触ICカードリーダー/ライターです。以下の特長があります。

●パソコンがなくても使用できます

難しい操作は不要です。電源を入れるだけで、使用することができます。

●ブラウザ起動によるホームページ誘導

おサイフケータイをかざしてもらうことで、お店のホームページへのアクセスを促し、会員登録などお客様とのコミュニケーションツールとしてご利用いただけます。

●トルカ/auケータイクーポンによるクーポンの配布

トルカ（NTTドコモ）、auケータイクーポン（au）に対応しており、クーポンの配布を行うことができます。

●勤怠/入退管理対応

ボタンにより「出勤」「退勤」などのモードを変更できます。

●サーバ連動対応

サーバとの連動により、店舗や日時に従ったトルカ/auケータイクーポンの配布などが行えます。

1-2 機能の概要

ここでは本製品の機能の概要について解説します。

■３種類の機能があります

本製品は、３種類のモード切り替えが可能です。モードの切り替えは「5-3 モードを切り替えるには」〈P.52〉を参照してください。

●ケータイアクセスモード

おサイフケータイ対応の携帯電話を本製品にかざすと、メーラやブラウザを起動したり、トルカクーポンを利用することができます。

たとえば、「ホームページへの誘導」「クーポンの配布」「メール会員登録」などにご利用いただけます。

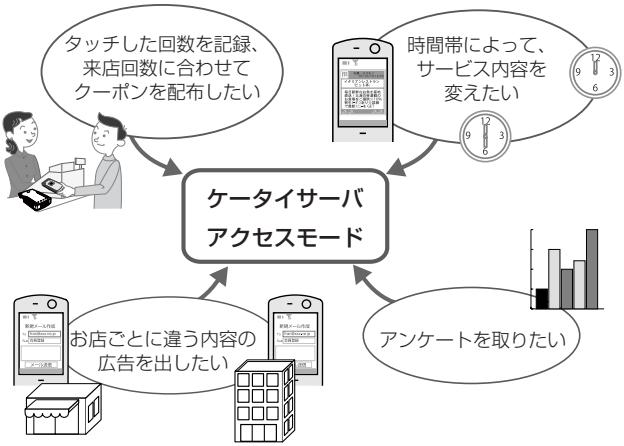
「第２章 ケータイアクセスモード編」〈P.16〉で解説しています。

※ おサイフケータイ用のモードです。FeliCaカードは使用できません。

●ケータイサーバアクセスモード

サーバとの連動により、ブラウザ起動のURL変更などが可能です。店舗や日時に従った広告表示、トルカ/auケータイクーポンの配布などができます。

「第３章 ケータイサーバアクセスモード編」 〈P.31〉で解説しています。



※ サーバを構築するためには別途マニュアルが必要です。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

※ FeliCaカードも利用可能ですが、メーラやブラウザの起動、クーポンの配布はできません。

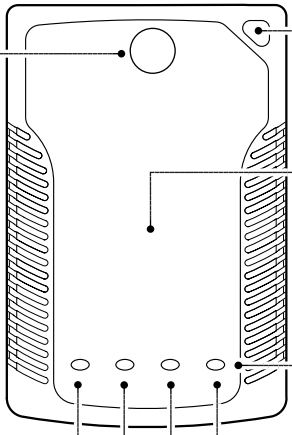
●勤怠/入退管理モード

ボタンにより「出勤」「退勤」などのモードを変更し、タイムカードを利用するように勤怠管理を実現できます。

「第４章 勤怠/入退管理モード編」 〈P.40〉で解説しています。

※ サーバを構築するためには別途マニュアルが必要です。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

■本体上面



ステータス切り替えボタン
押すたびに、ステータスランプが切り替わります。
おサイフケータイやFeliCaカードをかざすと、現在のステータスランプの情報がサーバに送られます。
※ ケータイアクセスモードの場合は使用しません。
※ 設定によって、使用するランプの数を変更することができます

ワイヤー通し穴
ワイヤーを取り付けるための穴です。〈P.12〉

FeliCa 読み取り部
おサイフケータイやFeliCaカードをかざす部分です。

ランプ 〈P.10〉

ステータス１
ステータス２
ステータス３
ステータス４

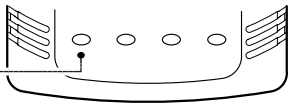
重 要

上面のシートをはがさないでください。故障の原因になります。

※ 上面のシート表面を保護している透明の薄いシールは、はがしてお使いください。
※ 点灯している１つをステータスランプと呼びます。
※ 左からステータス１、ステータス２、ステータス３、ステータス４のランプです。

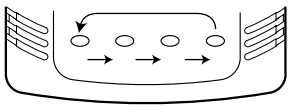
●ステータスランプについて

ケータイアクセスモードの場合
１番左側のランプが常にステータスランプです。



ケータイサーバアクセスモード、勤怠 / 入退管理モードの場合

ボタンを押すたびにステータスランプは、左から右に移動します。（１番右まで移動すると、次は１番左へ移動します）
左側の２つ、もしくは３つのランプだけを使用することもできます。〈P.38〉〈P.47〉
ステータスランプの位置は、サーバに送られます。〈P.31〉〈P.40〉



●ランプについて

ケータイアクセスモードの場合

電源投入後	正常時	緑色：ステータス 1 のランプ点灯
	設定が不正	赤色：すべて同時点滅〈P.69〉
FeliCa 通信		緑色：ステータス 1 のランプ点滅
おサイフケータイをかざす	成功	緑色：すべて同時点滅
	失敗	赤色：すべて同時点滅
ステータス切り替えボタンを押す		何も起こりません
その他	ファームウェア更新時	緑色：すべて同時点滅
	音声ファイル書き換え時	

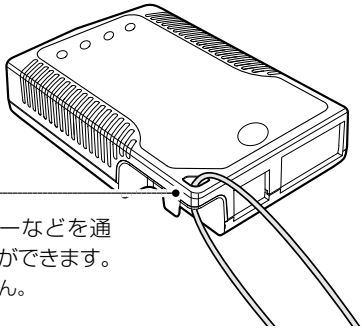
ケータイサーバアクセスモード、勤怠 / 入退管理モードの場合

電源投入後	ネットワーク通信可能	緑色：ステータスランプ点灯 ※ 1
	ネットワーク通信不能	赤色：ステータスランプ点灯 ※ 1 〈P.70〉
	設定が不正	赤色：すべて同時点滅〈P.69〉
FeliCa 通信 /Web サーバとの通信時	ネットワーク通信可能	緑色：ステータスランプ点滅 ※ 1
	ネットワーク通信不能	赤色：ステータスランプ点滅 ※ 1 〈P.70〉
おサイフケータイをかざす	応答受信	サーバからの指示に従う
	通信エラー	赤色：すべて同時点滅〈P.69〉
	おサイフケータイへのデータ送信に失敗	赤色：すべて同時点滅〈P.69〉（ケータイサーバアクセスモードのみ）
ステータス切り替えボタンを押す	ネットワーク通信可能	緑色：ステータスランプが左から右に順に移動 ※ 2
	ネットワーク通信不能	赤色：ステータスランプが左から右に順に移動 ※ 2
その他	ファームウェア更新時	緑色：すべて同時点滅
	音声ファイル書き換え時	

※1 ステータスランプとして使用するランプを設定できます。電源投入後は1番左側のランプがステータスランプとなります。ボタンを押すたびに順に移動します。〈P.10〉

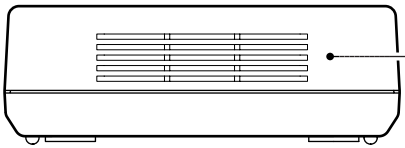
※2 使用可能なランプの数を設定できます。〈P.38〉〈P.47〉
初期設定では4つのランプ全てを使用します。

●ワイヤー通し穴



ワイヤー通し穴
ワイヤー通し穴にワイヤーなどを通して、本製品をつなぐことができます。
※ ワイヤーは付属していません。

■本体前面

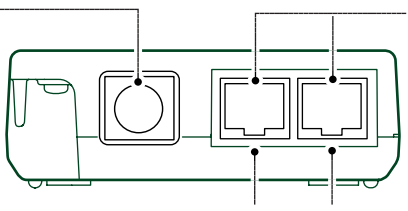


スピーカー口
音声を再生します。

※ スピーカー音については、「5-9 音声ファイルについて」〈P.59〉を参照してください。
※ DIPスイッチで「音声あり」と「音声なし」の設定ができます。〈P.15〉
※ DIPスイッチの設定で音量を変更できます。〈P.15〉

■本体背面

拡張ポート
将来のための拡張ポートです。



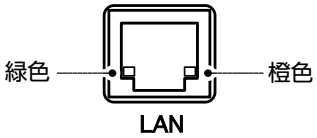
LAN ポート
LANケーブルを接続するポートです。
スイッチングハブとして動作するのでどちらに接続しても構いません。

LAN ポート（左）　LAN ポート（右）

重 要

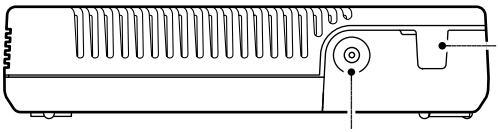
指定されたケーブル以外は接続しないでください。故障の原因となります。

●LANポートについて



緑色	点灯：ネットワークに接続しています。 消灯：ネットワークに接続していません。
橙色	点滅：データの送受信中です。 消灯：送受信はしていません。

■本体側面

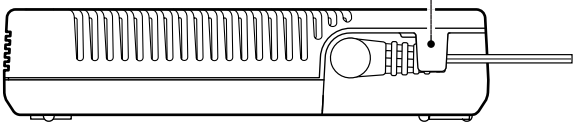


コード留め
ACアダプタコード留めです。

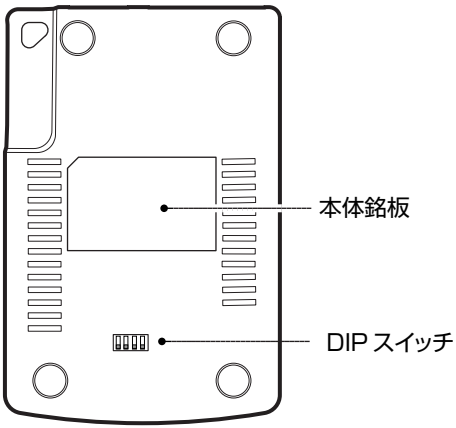
電源ポート
ACアダプタを接続するためのポートです。

●ACアダプタの接続

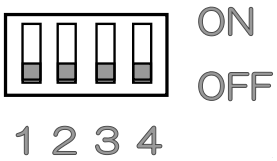
コード留め
ACアダプタコードを回転させて、図のように留めます。



■本体底面



●DIP スイッチについて



重要

DIP スイッチの切り替えは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。DIP スイッチの設定は、電源を入れてから有効になります。

●DIPスイッチの設定について

本製品は、通常起動とメインテナンス起動の2つの起動モードがあります。〈P.67〉

通常起動

DIPスイッチ1： 起動	 ON OFF:通常起動 1	
DIPスイッチ2： ランプ表示	 ON:表示なし OFF 2	 ON OFF:表示あり 2
DIPスイッチ3： 音声再生	 ON:音声なし ※1 OFF 3	 ON OFF:音声あり 3
DIPスイッチ4： 音量 ※2	 ON:音量大 OFF 3 4	 ON OFF:音量小 3 4

メインテナンス起動

DIPスイッチ1： 起動	 ON:メインテナンス起動 ※3 OFF 1	
DIPスイッチ2： IPアドレス	 ON:固定IP ※4 OFF 2	 ON OFF:設定に従う 2
DIPスイッチ3： 音声再生	 ON:音声なし ※1 OFF 3	 ON OFF:音声あり 3
DIPスイッチ4： 音量 ※2	 ON:音量大 OFF 3 4	 ON OFF:音量小 3 4

※1 DIPスイッチ3で「ON:音声なし」に設定した場合でも、指定した音声ファイルの再生時間分だけ処理時間を必要とします。

※2 DIPスイッチ3をONにしているとDIPスイッチ4の設定にかかわらず音は鳴りません。

※3 メインテナンス起動については、「6-1 メインテナンス起動について」〈P.67〉を参照してください。

※4 メインテナンス起動の際、DIPスイッチ2がONの場合は設定にかかわらず、以下の固定のIPアドレスで動作します。本体のIPアドレスが不明の場合に便利です。

IPアドレス：192.168.1.2
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.1.1
プライマリDNS：なし
セカンダリDNS：なし

第2章 ケータイアクセスモード編
ケータイアクセスモードの概要

おサイフケータイを本製品にかざすと、メーラやブラウザを起動したり、トルカを配布するなど、あらかじめ設定した機能を利用することができます。
NTT ドコモのおサイフケータイと、au/SoftBank のおサイフケータイとでは、利用できる機能が異なります。

キャリア	対応機能	トルカ配布	ブラウザ起動	メーラ起動
NTT ドコモ	トルカ対応 おサイフケータイ	トルカ配布	ブラウザ起動	ー
au	au ケータイクーポン対応 おサイフケータイ	ー	au ケータイ クーポン配布	メーラ起動
	上記以外 おサイフケータイ	ー	ブラウザ起動	メーラ起動
SoftBank	おサイフケータイ	ー	ブラウザ起動	メーラ起動

※「ー」は、おサイフケータイに機能が搭載されていません。

本製品では NTT ドコモと au/SoftBank とで、使用する機能をそれぞれ設定できます。〈P.22〉
たとえば、次のような設定が可能です。
●NTT ドコモ：トルカ配布、　au/SoftBank ：ブラウザ起動

■各機能の利用方法

●トルカ配布

NTT ドコモ

おサイフケータイを本製品にかざすことで、トルカが配布されます。たとえば、お店のお得な情報を、おサイフケータイに送ることができます。

※ トルカ詳細とそのURLは、別途ご用意ください。

「2-3 トルカを配布するには」〈P.23〉

●ブラウザ起動（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）

NTT ドコモ　au/SoftBank

おサイフケータイを本製品にかざすことで、ブラウザを起動できます。たとえば、お店のホームページを簡単に紹介し、見てもらうことができます。

※ ホームページは別途ご用意ください。

「2-4 ブラウザを起動させる（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）には」〈P.25〉

●メーラ起動（メールを簡単に送付してもらう）

au/SoftBank

おサイフケータイを本製品にかざすことで、メーラを起動できます。たとえば、会員登録のためのメールを簡単に送付してもらうことができます。

「2-5 メーラを起動させる（メールを簡単に送ってもらう）には」〈P.27〉

2-2 本製品の設定

本製品とパソコンを接続し、Web ブラウザから本製品の設定を行う方法の概要を解説します。

対応 OS、ブラウザについて

本製品は、OS：Windows® XP、ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 6.0
OS：Windows® Vista Business、ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 7.0 の組み合わせで動作確認をしています。

Windows® Vista Business で表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字列があります。

その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

一部の設定画面では、JavaScript を使用しています。設定の際は、ブラウザの JavaScript 機能を ON にすることをおすすめします。

■パソコンの準備

本製品と通信できるように、パソコンのネットワークの設定を一時的に変更します。

1. ［コントロールパネル］の［ネットワークとインターネット接続］を選択し、［ネットワーク接続］を選択します。

※ ここでは、Windows® XP で、コントロールパネルの表示方法を「カテゴリの表示」に設定している場合で解説しています。コントロールパネルの表示方法を「クラシック表示」に切り替えている場合は項目名の表示が異なります。コントロールパネル画面左側に表示されている［カテゴリの表示に切り替える］をクリックしてから、操作してください。

2. ［ローカルエリア接続］にマウスポインタを合わせ、右クリックします。

3. ［プロパティ］を選択し、［ローカルエリア接続のプロパティ］を開きます。
［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

4. ［次の IP アドレスを使う］をクリックし、［IP アドレス］に「192.168.1.1」、［サブネットマスク］に「255.255.255.0」と入力します。

重 要

すでにインターネットや LAN に接続しているパソコンの場合、IP アドレスの設定を変更すると、次回から正しく接続できなくなります。
本製品の設定が終了したら、必ずもとの設定に戻してください。
IP アドレスを変更する前に、現在設定されている内容をメモしておくことをおすすめします。

※ IP アドレスは、「192.168.1」までは固定です。末尾の番号は 0 と 2 以外の数値を入力できます。IP アドレスについてよくわからない方は、ネットワーク管理者に問い合わせるか、「192.168.1.1」と入力してください。

5. [OK] ボタンをクリックします。

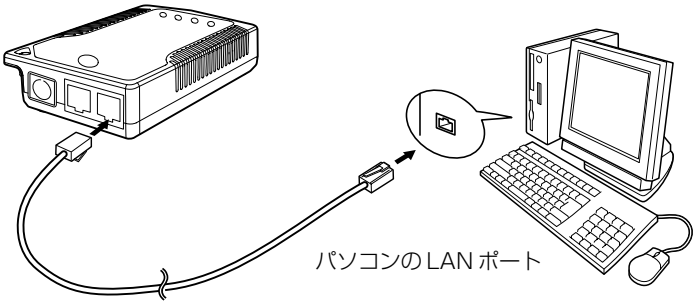
※ Windows ® のバージョンによっては再起動する必要があります。メッセージに従ってください。

MEMO

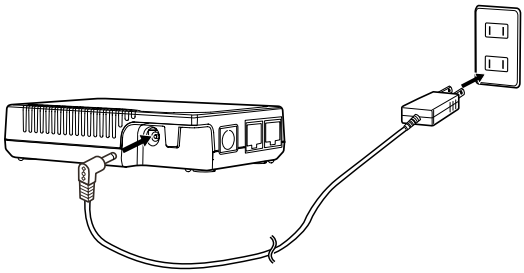
DIP スイッチの設定で IP アドレスを変更する方法があります。
詳しくは、「DIP スイッチの設定について」〈P.15〉を参照してください。

■本製品の接続

1. 下図を参照して、本製品とパソコンを LAN ケーブルで接続します。
LAN ポートのどちらに接続しても構いません。



2. 下図を参照して AC アダプタを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
しばらくすると、本製品が起動します。



重 要

本製品に付属の AC アダプタをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、故障の原因となることがあります。

MEMO

設置時には必ず DIP スイッチの設定を確認してください。〈P.15〉

■設定ページを開くには

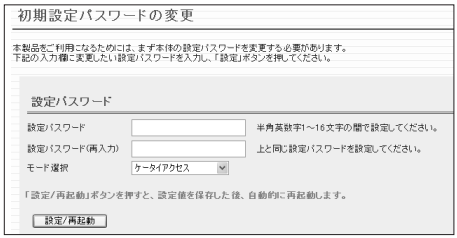
Microsoft® Internet Explorerから、本製品の内部に収録されている設定ページを開いて、必要な設定を行います。

1. Webブラウザを起動します。

2. URLを入力する欄に、「http://192.168.1.2/」と入力します。
次のダイアログが表示されます。

3. [ユーザ名]に[admin]、[パスワード]に[default]と入力します。
※「default」は工場出荷時に設定されているパスワードです。設定ページのパスワードを変更した場合は、そのパスワードを入力してください。ユーザ名は変更できません。詳しくは「5-7 パスワードを変更するには」〈P.57〉を参照してください。

4. パスワードと動作モードの設定画面が開きます。
※ すでにパスワードを変更している場合は、表示されません。



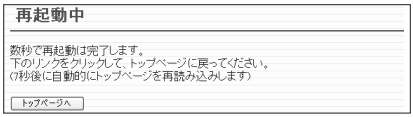
▼設定パスワード

設定パスワード	設定パスワードを半角英数字1〜16文字で入力します。 ※[default]以外のパスワードを入力してください。
設定パスワード(再入力)	[設定パスワード]に入力したパスワードをもう一度入力します。
モード選択	用途に応じたモードを選択します。 ここでは[ケータイアクセス]を選択します。

重 要

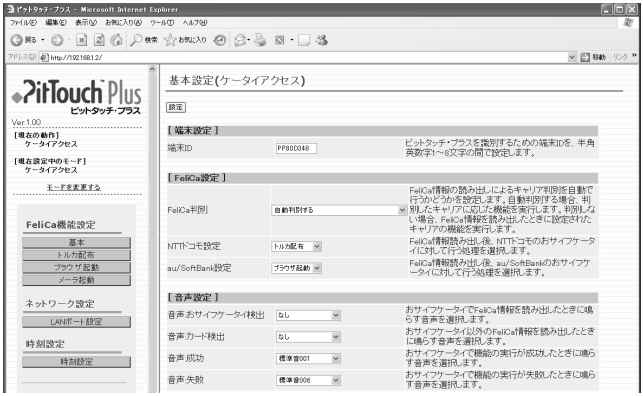
パスワードはメモを取るなどして適切に管理してください。パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時の設定に戻すことができます。〈P.63〉

5. 設定した内容を保存するために、［設定/再起動］ボタンをクリックします。
［再起動中］画面が開きます。



6. 約７秒後、次のダイアログが表示されます。
［ユーザ名］に［admin］、［パスワード］に設定したパスワードを入力します。

7. ケータイアクセスモードの設定ページが開きます。
以降、設定ページ左側のメニューをクリックして、目的の機能の設定を行います。



8. 各画面で必要な設定を行ったら、設定した内容を保存にするために、その画面に表示されている［設定］ボタンをクリックします。

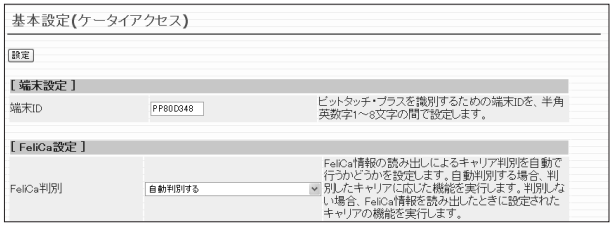
引き続き、ほかの画面で設定を行うときは「トップ」をクリックします。
設定を有効にするためには、［再起動］ボタンをクリックして、本製品を再起動します。起動したら、変更した内容で本製品を利用できます。

ケータイアクセスモードの具体的な設定方法については、次ページ以降で解説します。他モードと共通の機能に関する設定は、「第５章 共通の設定編」〈P.49〉で解説しています。

■基本設定

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］の［基本］ボタンをクリックします。
［基本設定（ケータイアクセス）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。



▼端末設定

端末ID	工場出荷時、本製品には端末を識別するための文字列が設定されています。これを「端末ID」と呼びます。 半角英数字１～８文字で入力します。

▼FeliCa設定

FeliCa判別	FeliCa情報の読み出しによるFeliCa判別を「自動判別しない」「自動判別する」「自動判別する（NTTドコモのみ検出）」から選択します。

MEMO

工場出荷時では、FeliCa判別機能が［自動判別する］に設定されています。
この場合、本製品におサイフケータイをかざすと、本製品がFeliCa情報を読み出した後、NTTドコモのおサイフケータイかどうかを判別してから、そのキャリアに対応する機能を実行します（キャリアについては「用語解説」〈P.73〉参照）。
このFeliCa判別機能を使用せず、NTTドコモ設定またはau/SoftBank設定のどちらかに設定された機能だけを実行することができます。この場合、FeliCa情報の読み出しのあと、キャリア判別の処理は行わず、設定したキャリアの機能を実行します。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

2-3 トルカを配布するには

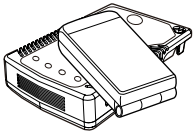
トルカを配布すると、たとえば、お店のお得な情報をおサイフケータイに送ることができます。

※ トルカ配布を利用する場合、トルカ詳細のデータとそのURLはお客様ご自身でご用意ください。

※ トルカに関するサポート・回答はできません。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

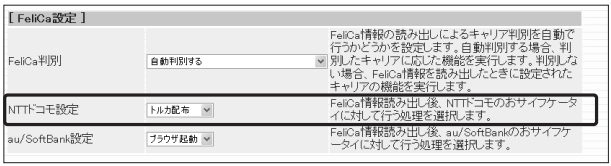
おサイフケータイの電源がONになっていること、および、アプリやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。
おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・プラスの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ 設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイに、トルカが配布されます。
お使いのおサイフケータイによっては表示が異なる場合があります。

■設定方法

1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

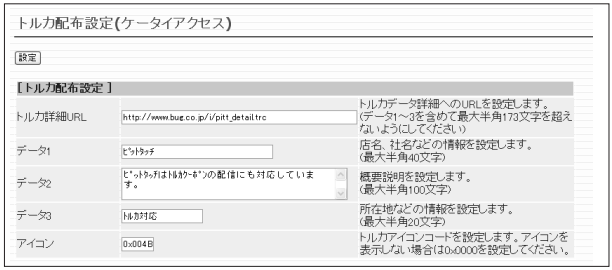
2. ［FeliCa設定］の［NTTドコモ設定］で「トルカ配布」を選択します。



※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更することができます。詳しくは「5-9 音声ファイルについて」〈P.59〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［トルカ配布］ボタンをクリックします。



▼トルカ情報設定を設定します。

トルカ詳細URL	トルカデータ詳細へのURLを入力します。（最大半角英数記号173文字。スペース、<>"{}|\^[]` は入力不可）
データ1	店名や社名などの情報を入力します。（最大半角40文字）
データ2	情報の概要説明を入力します。（最大半角100文字）
データ3	所在地などの情報を入力します。（最大半角20文字）
アイコン	アイコンに対応するコードを入力します。 ※ 対応するコードについてはトルカの情報Webサイトに掲載されている仕様書をご確認ください。〈P.72〉

※ トルカ詳細URL、データ1、データ2、データ3の合計サイズは半角173文字までです。

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

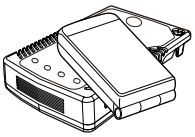
2-4 ブラウザを起動させる（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）には

本製品に、来店したお客様のおサイフケータイをかざしてもらうと、おサイフケータイでブラウザを起動することができます。
たとえば、お店のホームページに簡単に誘導することができます。また、auケータイクーポン対応機種では、auケータイクーポンを配布することができます。

※ ホームページは別途ご用意ください。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、および、アプリやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。
おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・プラスの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ 設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイで、指定したホームページのURLが表示されます。

※ auケータイクーポン対応機以外のau/SoftBankのおサイフケータイでは、指定した内容のメッセージポップアップが最初に表示されます。

キャリア	対応機能	動　作
NTT ドコモ	ブラウザ起動対応 おサイフケータイ	ブラウザ起動
au	auケータイクーポン対応 おサイフケータイ	auケータイクーポン配布
	上記以外のおサイフケータイ	ブラウザ起動
SoftBank	おサイフケータイ	ブラウザ起動

■設定方法

1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

2. ［FeliCa設定］の［NTTドコモ設定］または［au/SoftBank設定］で「ブラウザ起動」を選択します。

※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更することができます。詳しくは「5-9 音声ファイルについて」〈P.59〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［ブラウザ起動］ボタンをクリックします。

▼ブラウザ起動設定を設定します。

URL	ブラウザで開くURL（お店のホームページなど）を入力します。（最大半角英数記号184文字。スペース、<>"{}¦\^[]` は入力不可）
メッセージ	ブラウザが開いたときに表示するメッセージの内容を入力します。（最大半角184文字） ※ このメッセージはau/SoftBankのおサイフケータイで表示されます。auケータイクーポン対応端末の場合、このメッセージがクーポンの内容になります。

※ URL、メッセージの合計サイズは半角184文字までです。

※ auケータイクーポンの作成方法については、KDDI株式会社の技術情報をご確認ください。（2008/03現在）

http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/keitai_coupon/index.html

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

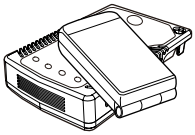
2-5 メーラを起動させる（メールを簡単に送ってもらう）には

本製品に、来店したお客様のおサイフケータイをかざしてもらうと、おサイフケータイでメーラを起動し、メールを簡単に送ってもらうことができます。たとえば、お店のメールアドレスにメールを送り、お客様に会員登録手続きをしてもらいたいときに便利です。

※ メールアドレスは別途ご用意ください。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

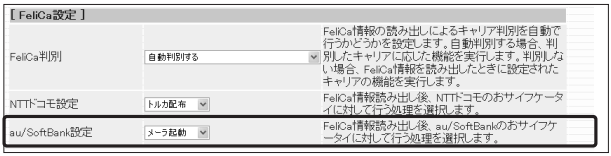
おサイフケータイの電源がONになっていること、および、アプリやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。
おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・プラスの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ 設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイで、メーラが起動します。宛先やタイトルなどをあらかじめ指定できます。

■設定方法

1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

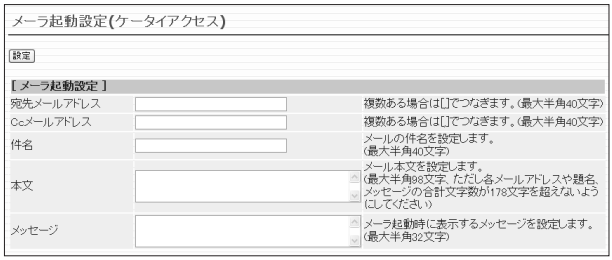
2. ［FeliCa設定］の［au/SoftBank設定］で「メーラ起動」を選択します。



※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更することができます。詳しくは「5-9 音声ファイルについて」〈P.59〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［メーラ起動］ボタンをクリックします。



▼メーラ起動設定を設定します。

宛先メールアドレス	宛先メールアドレスを入力します。複数ある場合は、「,」でつなぎます。（最大半角40文字）
Cc メールアドレス	Cc メールアドレスを入力します。複数ある場合は、「,」でつなぎます。（最大半角40文字）
件名	メールの件名を入力します。（最大半角40文字）
本文	メールの本文を入力します。（最大半角98文字）
メッセージ	メーラが起動したときに表示するメッセージを入力します。（最大半角32文字）

※ 宛先メールアドレス、Cc メールアドレス、件名、本文、メッセージの合計サイズは半角178文字までです。

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

2-6 本製品の音声を変更するには

機能を実行した際、成功か失敗かを知らせる音声を変更できます。

■設定方法

1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

2. 音声に関する各項目を設定します。

▼音声設定を設定します。

おサイフケータイ検出	おサイフケータイのFeliCa情報を読み出したときに鳴らす音声を選択します。
カード検出	おサイフケータイ以外のFeliCa情報を読み出したときに鳴らす音声を選択します。
成功	機能の実行（ブラウザ起動やトルカ配布など）が成功したときに鳴らす音声を選択します。
失敗	機能の実行（ブラウザ起動やトルカ配布など）が失敗したときに鳴らす音声を選択します。

重要

FeliCaの検出完了後、機能の実行が完了するまでには若干時間のかかる場合があります。そのため、FeliCaの検出後、すぐにおサイフケータイを本製品から離すと、正常に動作しないことがあります。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

2-7 設定が終了したら

本製品の設定が終了したら、お店など本製品を設置したい場所に移動します。

1. コンセントから電源プラグを抜き、ACアダプタを外します。パソコンから設定を行ったときは、LANケーブルを外します。
2. 本製品を設置したい場所に運び、ACアダプタを取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。
3. 本製品が起動したら、運用を開始できます。

MEMO

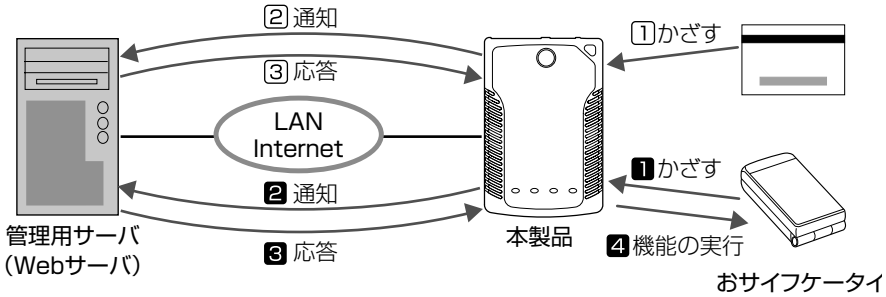
本製品の運用時には、パソコンを接続する必要はありません。
なお、本製品の設定を行うときに、パソコンのIPアドレスを変更した場合は、パソコンの設定をもとに戻さないと、インターネットに接続できないなど問題が発生することがあります。必ず、もとに戻してください。

第3章 ケータイサーバアクセスモード編
3-1 ケータイサーバアクセスモードの概要

ケータイサーバアクセスモードでは、おサイフケータイを本製品にかざすと、ネットワーク上にあるサーバにFeliCa ID、端末IDなどを通知します。サーバは、通知された情報をもとに、異なる返答ができるので、店舗や日時、おサイフケータイに従ったトルカ/auケータイクーポンの配布などが行えます。

設定〈P.38〉によっては、ステータス切り替えボタンを押すことにより、4つのステータスを通知し、ブラウザ起動のURLを変更することもできます。アンケート収集などの用途に使用できます。

■本製品の設置例



本製品がFeliCaカードやおサイフケータイを検出し、FeliCa IDを読み出すと、あらかじめ設定したサーバに対して、そのFeliCa IDなどの情報をHTTP通信またはセキュア対応のHTTPS通信で送信することができます。

サーバは通知された情報をもとに返答を作成し、応答します。本製品はその応答によって、ランプの点灯や音声再生を行います。また、おサイフケータイの機能を実行させることもできます。

■用意していただくもの

ケータイサーバアクセスモードをお使いの場合は、以下のものが別途必要です。

- FeliCaカード、またはおサイフケータイ
- 管理用サーバ・ソフトウェア
  Webサーバとして動作するパソコン（サーバ）と、本製品と通信するためのソフトウェアが必要です。
  ※ サーバは、お客様での用意が必要です。その場合は別途マニュアル〈P.7〉が必要です。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
  ※ ソフトウェアは別途ご用意ください。

対応OS、ブラウザについて

本製品は、OS：Windows® XP、ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 6.0 OS：Windows® Vista Business、ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 7.0の組み合わせで動作確認をしています。

Windows® Vista Businessで表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字列があります。

その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

一部の設定画面では、JavaScriptを使用しています。設定の際は、ブラウザのJavaScript機能をONにすることをおすすめします。

■パソコンの準備

最初に本製品に内蔵されている設定ページを開くときは、パソコンと本製品を接続して、FeliCa機能の設定、ネットワークへの導入に必要な設定を行う必要があります。

お買い上げ時に本製品に割り当てられているIPアドレスは、「192.168.1.2」です。本製品と通信できるように、パソコンのネットワークの設定を一時的に変更します。

変更方法は、「第2章 ケータイアクセスモード編」の「パソコンの準備」〈P.18〉を参照してください。

■パソコンと本製品を接続する

パソコンと本製品を接続します。接続方法は、「第2章 ケータイアクセスモード編」の「本製品の接続」〈P.19〉を参照してください。

■設定ページを開くには

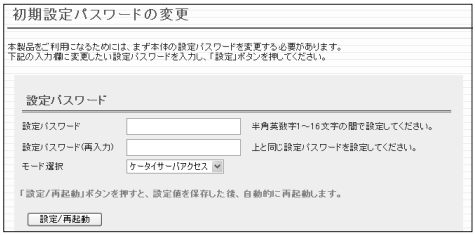
Microsoft® Internet Explorerから、本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行います。

1. Webブラウザを起動します。

2. URLを入力する欄に、「http://192.168.1.2/」と入力します。
次のダイアログが表示されます。

3. [ユーザ名] に [admin]、[パスワード] に [default] と入力します。
※「default」は工場出荷時に設定されているパスワードです。設定ページのパスワードを変更した場合は、そのパスワードを入力してください。ユーザ名は変更できません。詳しくは「5-7 パスワードを変更するには」〈P.57〉を参照してください。

4. パスワードと動作モードの設定画面が開きます。
※ すでにパスワードを変更している場合は、表示されません。



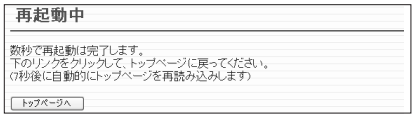
▼設定パスワード

設定パスワード	設定パスワードを半角英数字1～16文字で入力します。 ※［default］以外のパスワードを入力してください。
設定パスワード（再入力）	［設定パスワード］に入力したパスワードをもう一度入力します。
モード選択	用途に応じたモードを選択します。 ここでは［ケータイサーバアクセス］を選択します。

重 要

パスワードはメモを取るなどして適切に管理してください。パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時の設定に戻すことができます。〈P.63〉

5. 設定した内容を保存するために、［設定/再起動］ボタンをクリックします。
［再起動中］画面が開きます。



6. 約７秒後、次のダイアログが表示されます。
［ユーザ名］に［admin］、［パスワード］に設定したパスワードを入力します。

7. ケータイサーバアクセスモードの設定ページが開きます。
以降、左側のメニューをクリックして、目的の機能の設定を行います。

8. 各画面で必要な設定を行ったら、設定した内容を保存にするために、その画面に表示されている［設定］ボタンをクリックします。

引き続き、ほかの画面で設定を行うときは「トップ」をクリックします。
設定を有効にするためには、［再起動］ボタンをクリックして、本製品を再起動します。
起動したら、変更した内容で本製品を利用できます。

ケータイサーバアクセスモードの具体的な設定方法については、次ページ以降で解説します。ネットワーク設定や他モードと共通の機能に関する設定は、「第５章 共通の設定編」〈P.49〉で解説しています。

■基本設定

基本設定では、FeliCaカードに関する設定を行います。

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］の［基本］ボタンをクリックします。
［基本設定（ケータイサーバアクセス）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。

▼端末設定

端末ID	工場出荷時、本製品には端末を識別するための文字列が設定されています。これを「端末ID」と呼びます。 管理用のサーバと通信する際にも、この端末IDがパラメータとして送られるため、サーバ側で複数のピットタッチ・プラスを管理するときに利用できます。 これらの場合、わかりやすい端末IDを入力すると、管理しやすくなります。必要に応じて入力してください。 半角英数字１～８文字で入力します。

▼FeliCa設定

FeliCa判別	FeliCa情報の読み出しによるFeliCa判別を「自動判別する」「自動判別する（NTT ドコモのみ検出）」「自動判別しない」から選択します。

▼音声設定

本製品の音声で、利用者にメッセージを通知することができます。

おサイフケータイ検出	おサイフケータイを検出したときに鳴らす音声を選択します。
カード検出	カードを検出したときに鳴らす音声を選択します。
失敗	サーバとの通信で何らかのエラーが発生したとき、または、おサイフケータイで機能の実行が失敗したときに鳴らす音声を選択します。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

■サーバ通信設定

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］メニューの［サーバ通信］ボタンをクリックします。
［サーバ通信設定（ケータイサーバアクセス）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。

▼サーバ設定

プロトコル	プロトコルを「http」「https（サーバ認証なし）」「https（サーバ認証あり）」から選択します。
サーバ名	通信するサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。ホスト名の場合は、半角0～128文字で入力します。
サーバポート番号	Webサーバのポート番号を1～65535の範囲で入力します。
Webアプリパス	Webアプリのパスを半角0～64文字で入力します。
接続タイムアウト	接続タイムアウトの値を1～60秒の範囲で入力します。
受信タイムアウト	受信タイムアウトの値を1～60秒の範囲で入力します。
送信メソッド	送信時のメソッドを「POST」「GET」から選択します。
FeliCa ID送信	FeliCa IDの送信方法を「送信しない」「送信する（暗号化なし）」「送信する（暗号化あり）」から選択します。
認証方法	Webサーバの認証方法を「自動」「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」から選択します。
認証ユーザ名	Webサーバで認証を行うときのユーザ名を半角0～32文字で入力します。
認証パスワード	Webサーバで認証を行うときのパスワードを半角0～32文字で入力します。現在の設定値は表示されません。変更する場合は「変更する」を選択してください。

▼プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシサーバを「使用しない」「使用する」から選択します。
サーバ名	プロキシサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。ホスト名の場合は、半角0～128文字で入力します。
ポート番号	プロキシサーバのポート番号を1～65535の範囲で入力します。
認証方法	プロキシサーバの認証方法を「自動」「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」から選択します。
認証ユーザ名	プロキシサーバで認証を行うときのユーザ名を半角0～32文字で入力します。
認証パスワード	プロキシサーバで認証を行うときのパスワードを半角0～32文字で入力します。現在の設定値は表示されません。変更する場合は「変更する」を選択してください。

3. 設定を保存するために、[設定] ボタンをクリックします。

■ステータス切り替え設定

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］メニューの［ステータス切り替え］ボタンをクリックします。
［ステータス切り替え設定（ケータイサーバアクセス）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。

ステータス切り替え	ステータス切り替えボタンで切り替え可能なステータスを選択します。たとえば「ステータス１～３」と設定するとボタンを押すたびに「1」→「2」→「3」→「1」…の順にステータスが切り替わります。
ステータス切り替え１	ステータス１が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
ステータス切り替え２	ステータス２が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
ステータス切り替え３	ステータス３が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
ステータス切り替え４	ステータス４が選択されたときに鳴らす音声を選択します。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

3-3 本製品の利用方法

本製品の設定が終了したら、ネットワークに導入できます。

1. コンセントから電源プラグを抜き、ACアダプタを外します。LANケーブルを外します。

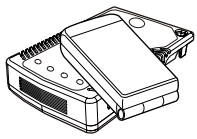
2. 本製品を設置したい場所に運び、本製品とハブ等をLANケーブルでつなぎ、ネットワークで使用できるようにします。

3. ACアダプタを取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。
   しばらくすると、本製品が起動し、運用を開始できます。

■本製品の利用

1. ステータス切り替えボタンを押します。ステータスランプが切り替わります。
   ※「ステータス切り替え設定」を行った場合です。
   ※ ステータス切り替えボタンを使用しない場合は切り替わりません。

2. 本製品のFeliCa読み取り部に、おサイフケータイ、またはFeliCaカードをかざします。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、および、アプリやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。
おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・プラスの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ 設定によっては音が鳴りません。

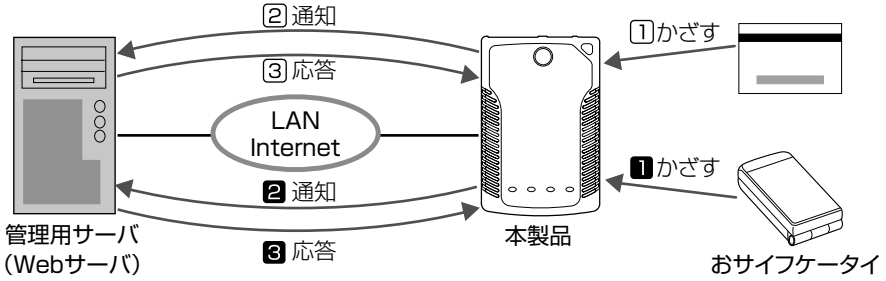
3. 本製品がおサイフケータイ、またはFeliCaカードのFeliCa IDを読み取ります。FeliCa IDなどの情報をサーバに通知します（設定により送られるものが異なります）。

4. サーバの応答によって、おサイフケータイのメーラやブラウザを起動したり、トルカ/auケータイクーポンを配布します。また、本製品のランプの点滅方法や鳴らす音声もサーバの応答により変わります。
   ※ 詳細は、サーバ送受信仕様書を参照してください。〈P.7〉

第４章 勤怠/入退管理モード編
4-1 勤怠/入退管理モードの概要

勤怠/入退管理モードでは、FeliCaカードやおサイフケータイを本製品にかざすと、ネットワーク上にあるパソコンやサーバに通知する機能を搭載しています。
タイムカードや電子錠の管理などに利用できます。
ステータス切り替えボタンを押すことにより、４つのステータスを切り替えて通知できます。それぞれのステータスに「出勤」「退勤」「外出」「戻り」を割り当てることなどが可能です。

■本製品の設置例



本製品がFeliCaカードやおサイフケータイを検出し、FeliCa IDを読み出すと、あらかじめ設定したサーバに対して、そのFeliCa IDなどの情報をHTTP通信またはセキュア対応のHTTPS通信で送信します。
サーバは通知された情報をもとに、出勤（入室）時間、退勤（退室）時間を記録し管理することができます。

■用意していただくもの

勤怠/入退管理モードをお使いの場合は、以下のものが別途必要です。

- FeliCaカード、またはおサイフケータイ
- 管理用サーバ・ソフトウェア
  Webサーバとして動作するパソコン（サーバ）と、本製品と通信するためのソフトウェアが必要です。
  ※ サーバは、お客様での用意が必要です。その場合は別途マニュアル〈P.7〉が必要です。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
  ※ ソフトウェアは別途ご用意ください。

4-2 本製品の設定

対応OS、ブラウザについて

本製品は、OS：Windows® XP、ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 6.0
OS：Windows® Vista Business、ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 7.0の組み合わせで動作確認をしています。

Windows® Vista Businessで表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字列があります。

その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

一部の設定画面では、JavaScriptを使用しています。設定の際は、ブラウザのJavaScript機能をONにすることをおすすめします。

■パソコンの準備

最初に本製品に内蔵されている設定ページを開くときは、パソコンと本製品を接続して、FeliCa機能の設定、ネットワークへの導入に必要な設定を行う必要があります。

お買い上げ時に本製品に割り当てられているIPアドレスは、「192.168.1.2」です。本製品と通信できるように、パソコンのネットワークの設定を一時的に変更します。

変更方法は、「第2章 ケータイアクセスモード編」の「パソコンの準備」〈P.18〉を参照してください。

■パソコンと本製品を接続する

パソコンと本製品を接続します。接続方法は、「第2章 ケータイアクセスモード編」の「本製品の接続」〈P.19〉を参照してください。

■設定ページを開くには

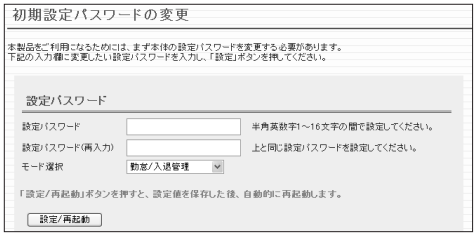
Microsoft® Internet Explorerから、本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行います。

1. Webブラウザを起動します。

2. URLを入力する欄に、「http://192.168.1.2/」と入力します。
次のダイアログが表示されます。

3. [ユーザ名] に [admin]、[パスワード] に [default] と入力します。
※「default」は工場出荷時に設定されているパスワードです。設定ページのパスワードを変更した場合は、そのパスワードを入力してください。ユーザ名は変更できません。詳しくは「5-7 パスワードを変更するには」〈P.57〉を参照してください。

4. パスワードと動作モードの設定画面が開きます。
※ すでにパスワードを変更している場合は、表示されません。



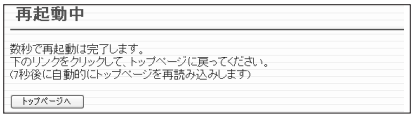
▼設定パスワード

設定パスワード	設定パスワードを半角英数字1〜16文字で入力します。 ※［default］以外のパスワードを入力してください。
設定パスワード（再入力）	［設定パスワード］に入力したパスワードをもう一度入力します。
モード選択	用途に応じたモードを選択します。 ここでは［勤怠/入退管理］を選択します。

重要

パスワードはメモを取るなどして適切に管理してください。パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時の設定に戻すことができます。〈P.63〉

5. 設定した内容を保存するために、［設定/再起動］ボタンをクリックします。
［再起動中］画面が開きます。



6. 約７秒後、次のダイアログが表示されます。
［ユーザ名］に［admin］、［パスワード］に設定したパスワードを入力します。

7. 勤怠/入退管理モードの設定ページが開きます。
以降、左側のメニューをクリックして、目的の機能の設定を行います。

8. 各画面で必要な設定を行ったら、設定した内容を保存するために、その画面に表示されている［設定］ボタンをクリックします。

引き続き、ほかの画面で設定を行うときは「トップ」をクリックします。
設定を有効にするためには、［再起動］ボタンをクリックして、本製品を再起動します。
起動したら、変更した内容で本製品を利用できます。

勤怠/入退管理モードの具体的な設定方法については、次ページ以降で解説します。ネットワーク設定や管理機能に関する設定は、「第５章 共通の設定編」〈P.49〉で解説しています。

■基本設定

基本設定では、FeliCaカードに関する設定を行います。

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］の［基本］ボタンをクリックします。
［基本設定（勤怠/入退管理）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。

▼端末設定

端末ID	工場出荷時、本製品には端末を識別するための文字列が設定されています。これを「端末ID」と呼びます。 管理用のサーバと通信する際にも、この端末IDがパラメータとして送られるため、サーバ側で複数のピットタッチ・プラスを管理するときに利用できます。 これらの場合、わかりやすい端末IDを入力すると、管理しやすくなります。必要に応じて入力してください。 半角英数字１～８文字で入力します。

▼FeliCa設定

システムコード	FeliCa IDを読み出すために必要なコードを入力します。 ※ 通常は、変更する必要はありません。 ※ FeliCaに関する技術的質問に関しては、一切のサポート・回答はできません。

▼音声設定

本製品の音声で、利用者にメッセージを通知することができます。

カード検出	カードまたはおサイフケータイを検出したときに鳴らす音声を選択します。
失敗	サーバとの通信で何らかのエラーが発生したときに鳴らす音声を選択します。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

■サーバ通信設定

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］メニューの［サーバ通信］ボタンをクリックします。
［サーバ通信設定（勤怠/入退管理）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。

▼サーバ設定

プロトコル	プロトコルを「http」「https（サーバ認証なし）」「https（サーバ認証あり）」から選択します。
サーバ名	通信するサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。ホスト名の場合は、半角0～128文字で入力します。
サーバポート番号	Webサーバのポート番号を1～65535の範囲で入力します。
Webアプリパス	Webアプリのパスを半角0～64文字で入力します。
接続タイムアウト	接続タイムアウトの値を1～60秒の範囲で入力します。
受信タイムアウト	受信タイムアウトの値を1～60秒の範囲で入力します。
送信メソッド	送信時のメソッドを「POST」「GET」から選択します。
FeliCa ID送信	FeliCa IDの送信方法を「送信しない」「送信する（暗号化なし）」「送信する（暗号化あり）」から選択します。
認証方法	Webサーバの認証方法を「自動」「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」から選択します。
認証ユーザ名	Webサーバで認証を行うときのユーザ名を半角0～32文字で入力します。
認証パスワード	Webサーバで認証を行うときのパスワードを半角0～32文字で入力します。現在の設定値は表示されません。変更する場合は「変更する」を選択してください。

▼プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシサーバを「使用しない」「使用する」から選択します。
サーバ名	プロキシサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。ホスト名の場合は、半角0～128文字で入力します。
ポート番号	プロキシサーバのポート番号を1～65535の範囲で入力します。
認証方法	プロキシサーバの認証方法を「自動」「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」から選択します。
認証ユーザ名	プロキシサーバで認証を行うときのユーザ名を入力します。
認証パスワード	プロキシサーバで認証を行うときのパスワードを入力します。現在の設定値は表示されません。変更する場合は「変更する」を選択してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

■ステータス切り替え設定

1. 設定ページ左側の［FeliCa機能設定］メニューの［ステータス切り替え］ボタンをクリックします。
［ステータス切り替え設定（勤怠/入退管理）］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。

ステータス切り替え	ステータス切り替えボタンで切り替え可能なステータスを選択します。たとえば「ステータス１～3」と設定するとボタンを押すたびに「1」→「2」→「3」→「1」…の順にステータスが切り替わります。
ステータス切り替え１	ステータス１が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
ステータス切り替え２	ステータス２が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
ステータス切り替え３	ステータス３が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
ステータス切り替え４	ステータス４が選択されたときに鳴らす音声を選択します。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4-3 本製品の利用方法

本製品の設定が終了したら、ネットワークに導入できます。

1. コンセントから電源プラグを抜き、ACアダプタを外します。LANケーブルを外します。

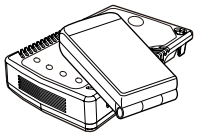
2. 本製品を設置したい場所に運び、本製品とハブ等をLANケーブルでつなぎ、ネットワークで使用できるようにします。

3. ACアダプタを取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。
しばらくすると、本製品が起動し、運用を開始できます。

■本製品の利用

1. ステータス切り替えボタンを押します。ステータスランプが切り替わります。
※「ステータス切り替え設定」を行った場合です。
※ ステータス切り替えボタンを使用しない場合は切り替わりません。

2. 本製品のFeliCa読み取り部に、おサイフケータイ、またはFeliCaカードをかざします。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、および、アプリやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。
おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・プラスの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ 設定によっては音が鳴りません。

3. 本製品がおサイフケータイ、またはFeliCaカードのFeliCa IDを読み取ります。FeliCa IDなどの情報をサーバに通知します（設定により送られるものが異なります）。

4. サーバの応答によって、本製品のランプの点滅方法や鳴らす音声が変わります。
※ 詳細は、サーバ送受信仕様書を参照してください。〈P.7〉

第５章 共通の設定編
5-1 本製品をネットワークに接続するには

本製品をネットワークに接続する場合、お読みください。ネットワークに関する設定を行います。

重 要

本製品を使用するためにはパスワードを変更する必要があります。
詳しくは「5-7 パスワードを変更するには」〈P.57〉を参照し、必ず本製品のパスワードを変更してください。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［LANポート設定］ボタンをクリックします。
［LANポート設定］画面が開きます。必要な設定を行います。

▼IP

IPアドレス取得方法	IPアドレスを「手動」「自動(DHCP)」から選択します。工場出荷時は、［手動］です。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを入力します。［IPアドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合は、この設定は使用しません。工場出荷時は、［192.168.1.2］です。 DIPスイッチの設定によっては、固定のIPアドレスで起動することができます。詳しくは〈P.15〉を参照してください。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを入力します。［IPアドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合は、この設定は使用しません。工場出荷時は、［255.255.255.0］です。
ゲートウェイアドレス	本製品を導入するネットワークのゲートウェイアドレスを入力します。［IPアドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合は、この設定は使用しません。工場出荷時は、［255.255.255.255］です。
プライマリDNS/ セカンダリDNS	プライマリDNS/セカンダリDNSを入力します。［IPアドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合も、取得したDNSアドレスよりもこの設定が優先されます。

2. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

5-2 設定を確認するには

本製品の現在使用中の設定や、設定ページで設定したすべての内容を確認することができます。

※ パスワードは＊で表示されます。また、設定ページを開く際に必要となる［設定パスワード］は表示されません。

■現在使用中の設定を確認するには

1. 設定ページ左側の［設定一覧］をクリックします。
［現在使用中の設定一覧］画面が開きます。
ここではケータイアクセスモードの設定一覧を開いています。

現在使用中の設定一覧

現在、ピットタッチ・プラスが動作に使用している設定値(起動時の設定値)を表示します。

基本設定(ケータイアクセス)

[基本設定]	
端末ID	PP80D348
動作モード	ケータイアクセス
[FeliCa設定]	
FeliCa判別	自動判別する
NTTドコモ設定	トルカ配布
au/SoftBank設定	ブラウザ起動
[音声設定]	
音声:おサイフケータイ検出	なし
音声:カード検出	なし
音声:成功	標準音001
音声:失敗	標準音006

トルカ設定(ケータイアクセス)

[トルカ設定]	
トルカ詳細URL	http://www.bug.co.jp/i/pitt_detail.trc
データ1	ピットタッチ
データ2	ピットタッチはトルカクーポンの配信にも対応しています。
データ3	トルカ対応
アイコン	0x004B

ブラウザ設定(ケータイアクセス)

[ブラウザ設定]	
URL	http://www.bug.co.jp/i/pitt.html
メッセージ	ピットタッチ!

メーラ設定(ケータイアクセス)

[メーラ設定]	
宛先メールアドレス	
Ccメールアドレス	
件名	
本文	
メッセージ	

ネットワーク設定

[LANポート設定]	
IPアドレス取得方法	手動
IPアドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	255.255.255.255
プライマリDNS	
セカンダリDNS	
NTPサーバ名	

2. 本製品が使用している設定を確認することができます。
使用中のモードの設定のみが表示されます。

■設定ページで設定したすべての内容を確認するには

1. 設定ページ左側の［設定管理］をクリックします。
［設定一覧］画面が開きます。

設定一覧

現在の設定値を表示します。

基本設定

[基本設定]	
端末ID	PP80D348
動作モード	ケータイアクセス
[FeliCa設定]	
システムコード	0xFFFF
FeliCa判別	自動判別する
NTTドコモ設定	トルカ通知
au/SoftBank設定	ブラウザ起動
[音声設定]	
音声:おサイフケータイ検出	なし
音声:カード検出	なし
音声:成功	標準音001
音声:失敗	標準音006

トルカ設定

[トルカ設定]	
トルカ詳細URL	http://www.bug.co.jp/i/pitt_detail.trc
データ1	ピットタッチ
データ2	ピットタッチはトルカクーポンの配信にも対応しています。
データ3	トルカ対応
アイコン	0x004B

ブラウザ設定

[ブラウザ設定]	
URL	http://www.bug.co.jp/i/pitt.html
メッセージ	ピットタッチ!

メーラ設定

[メーラ設定]	
宛先メールアドレス	
Ccメールアドレス	
件名	
本文	
メッセージ	

サーバ通信設定

[サーバ設定]	
プロトコル	http
サーバ名	
サーバポート番号	8080
Webアプリパス	
接続タイムアウト	10
受信タイムアウト	10
送信メソッド	POST
FeliCa ID送信	送信しない
認証方法	認証なし
認証ユーザ名	
認証パスワード	*
[プロキシ設定]	
プロキシ機能	使用しない
サーバ名	
ポート番号	8080
認証方法	認証なし
認証ユーザ名	
認証パスワード	*

ステータス切り替え設定

[ステータス切り替え設定]	
ステータス切り替え	ステータス1～4
音声:ステータス切り替え1	標準音052
音声:ステータス切り替え2	標準音052
音声:ステータス切り替え3	標準音052
音声:ステータス切り替え4	標準音052

ネットワーク設定

[LANポート設定]	
IPアドレス取得方法	手動
IPアドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	255.255.255.255
プライマリDNS	
セカンダリDNS	
NTPサーバ名	

2. ［設定一覧］では設定ページで設定したすべての内容を確認することができます。
本製品を再起動すると、この設定内容が本製品に反映され、設定した動作モードになります。また、設定をファイルに保存する場合は、この設定内容が保存されます。

5-3 モードを切り替えるには

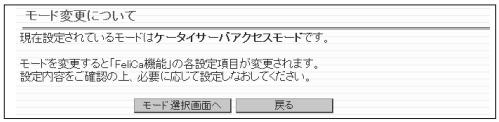
本製品のモードを切り替えることができます。

MEMO

本製品が工場出荷時の場合は、使用するモードの［本製品の設定］を参照して設定してください。〈P.18〉〈P.32〉〈P.41〉

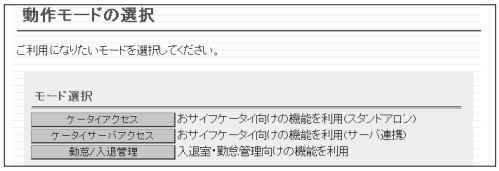
■本製品のモードを切り替えるには

1. 設定ページ左側の［モードを変更する］をクリックします。
［モード変更について］画面が開きます。

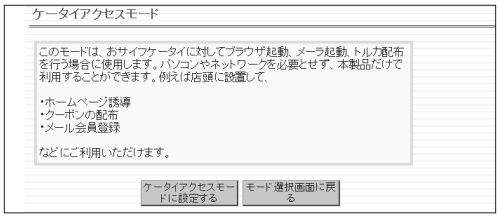


※ モードを変更すると「FeliCa 機能」の各設定項目が変更されます。

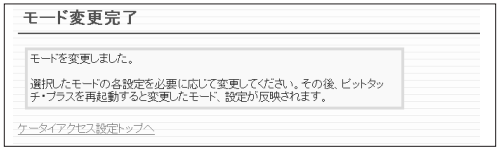
2. ［モード選択画面へ］をクリックします。
［動作モードの選択］画面が開きます。



3. 使用したいモードのボタンをクリックします。
確認画面が開きます。たとえばケータイアクセスモードに切り替える場合は、［ケータイアクセスモードに設定する］ボタンをクリックします。



4. ［モード変更完了］画面が表示されます。
「ケータイアクセス設定トップへ」をクリックします。



5-4 設定をファイルに保存/保存した設定を再設定するには

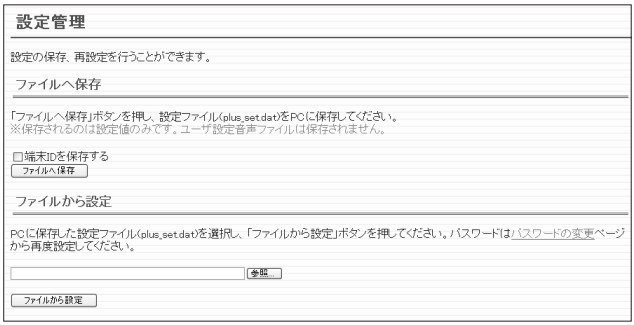
本製品の設定をパソコンへ保存したり、保存した設定を再設定することができます。

MEMO

本製品は専用の設定カード（別売り）により設定の読み書きをする機能があります。設定カードに設定を読み込んだり、設定カードから本製品に設定を書き込むことができます。多くの本製品に対し同じ設定を書き込む場合に便利です。
詳細はお買い求めになった販売元へお問い合わせください。〈P.7〉

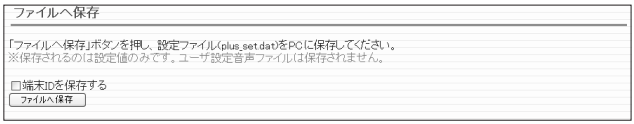
■設定方法

1. 設定ページ左側の［設定管理］ボタンをクリックします。
［設定管理］画面が開きます。



■ファイルに保存

1. 端末 ID を保存する場合は［□端末 ID を保存する］のチェックボックスにチェックを入れ、［ファイルへ保存］ボタンをクリックします。
設定のバックアップをする場合にはチェックすると便利です。また、同様の設定を別の端末に適用する場合には、チェックしないことをおすすめします。



2. ［ファイルのダウンロード］ダイアログが表示され、［保存］ボタンをクリックします。

3. ［名前を付けて保存］ダイアログが表示されるので、［ファイル名］に、保存する設定ファイルの名前を入力します。
［保存］ボタンをクリックします。本製品の設定が、ファイルに保存されます。

MEMO

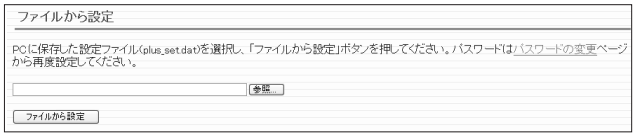
ファイルに設定を保存する場合は、設定パスワードは保存されません。

MEMO

［設定一覧］に表示されている内容が、ファイルに保存されます。

■ファイルから設定

1. パソコンに保存した設定ファイルを選択します。
［参照］ボタンをクリックします。［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、パソコンに保存した設定ファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。



2. ［ファイルから設定］ボタンをクリックします。
「設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。

3. 設定を有効にするために、［再起動］ボタンをクリックして本製品を再起動します。

MEMO

設定が正しくない場合は、再起動後にすべてのランプが赤色点滅します。〈P.69〉

5-5 本製品のネットワーク状況を確認するには

本製品をネットワークに接続している際、ネットワークに関する情報を確認できます。

■確認方法

1. 設定ページ左側の［ネットワーク状況］ボタンをクリックします。
［ネットワーク状況］画面が開きます。

ネットワーク状況

[IP設定状況]	
IPアドレス取得方法	手動
IPアドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
DNS 1	192.168.1.1
DNS 2	192.168.1.254
MACアドレス	00:80:b8:80:d3:48
LANポート(左)リンク状態	100Mbps 全二重
LANポート(右)リンク状態	10Mbps 半二重

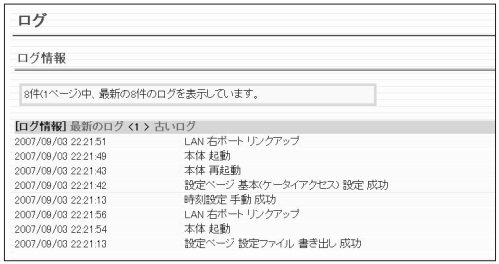
［IPアドレス取得方法］で［自動（DHCP）］に設定した場合は、取得したゲートウェイアドレスやDNSサーバのアドレスを確認できます。

5-6 本製品のログを確認するには

本製品では最大2000件のログを保存することができます。必要に応じてご確認ください。

■確認方法

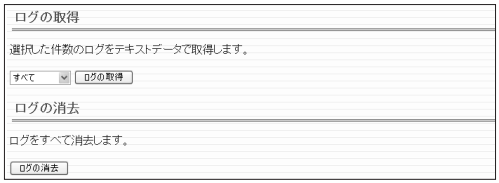
1. 設定ページ左側の［ログ］ボタンをクリックします。
［ログ］画面が開き、ログ情報の一覧が表示されます。
ログは上から新しい順に表示されます。



■ログの取得

本製品に保存されているログを、テキストデータで取得できます。

1. ログ一覧の下にあるメニューから、取得するログの件数を選択します。



2. ［ログの取得］ボタンをクリックします。
メニューで選択した件数の最新ログを、テキストデータで取得できます。
取得したログは上から古い順に表示されます。

■ログの消去

1. ［ログ］画面の下に表示されている、［ログ消去］ボタンをクリックします。

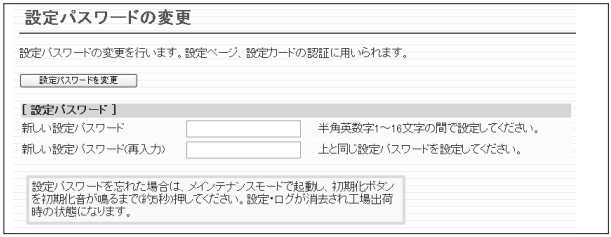
2. ［ログ消去確認］画面に表示されている、［ログを消去する］ボタンをクリックします。
「現在のログを消去しました」と表示され、現在本製品に保存されているログがすべて消去されます。
ボタン操作で消去できます。ボタン操作では設定も初期化されます。〈P.64〉

5-7 パスワードを変更するには

本製品を使用するには最初にパスワードを変更する必要があります。
また、本製品のパスワードを変更したいときに設定します。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［設定パスワード］ボタンをクリックします。
［設定パスワードの変更］画面が開きます。



▼設定パスワード
Web ブラウザから設定ページを開くときのパスワードを変更します。

新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。半角英数字 1 ～ 16 文字で入力します。工場出荷時は、［default］です。 ※［default］以外のパスワードを入力してください。
新しいパスワード（再入力）	［新しいパスワード］に入力したパスワードをもう一度入力します。

※ ログインする際のユーザ名は変更できません。［admin］となります。

2. パスワードを設定する場合は、新しいパスワードを入力後、［設定パスワードを変更］ボタンをクリックします。

重要

パスワードはメモを取るなどして適切に管理してください。
パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時の設定に戻すことができます。〈P.63〉

MEMO

設定パスワードを忘れた場合は、メインテナンスモードで起動し、ステータス切り替えボタンを設定初期化音「ピー」が鳴るまで（約 5 秒）押してください。設定・ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.64〉

5-8 時刻を設定するには

時刻に関する設定ができます。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［時刻設定］ボタンをクリックします。
［時刻設定］画面が開きます。

▼手動設定

現在時刻	本製品の時刻が表示されています。
設定する時刻	「年/月/日 時:分:秒（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）」の形式で時刻を入力します。 設定できる範囲は２０００年１月１日０時０分０秒(2000/01/01 00:00:00) から2099年12月31日23時59分59秒(2099/12/31 23:59:59)です。

▼パソコンの時刻から設定

現在のパソコンの時間	使用しているWebブラウザのJavaScriptがONの場合、パソコンの時刻が表示されています。

▼NTPサーバ設定

サーバ名	NTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。この項目が設定されている場合、本体が起動してから数秒後にNTPサーバに接続し時刻設定します。以後１日１回、NTPサーバに時刻を問い合わせます。 ※ 本製品をネットワークに接続している場合に使用します。

2. 設定した内容を保存するために、各［設定］ボタンをクリックします。

5-9 音声ファイルについて

本製品は、標準で搭載している音声ファイルと、ユーザが追加できる音声ファイルの、2種類の音声ファイルを保持できます。

■音声ファイルについて

以下は標準の音声ファイルのリストです。音声ファイルは各設定ページで設定することにより、各動作発生時に再生する音声を選択することができます。

1.標準の音声ファイル

番　号	音声ファイル
001	成功音１
002	成功音２
003	成功音３
004	失敗音１
005	失敗音２
006	失敗音３
007	効果音1
008	効果音2
009	“ありがとうございます”
010	“クーポンのご利用、ありがとうございます”
011	“ご確認ください”
012	“使用できません”
013	“おはようございます”
014	“お帰りなさい”
015	“おつかれさまでした”

番　号	音声ファイル
016	“いってらっしゃい”
017	“こんにちは”
018	“さようなら”
019	“登録がありません”
020	“出勤です”
021	“退勤です”
022	“外出です”
023	“戻りです”
024	“エラーです”
025	“ステータスエラーです”
026	ファームウェア起動音
051	ピー（トーン）
052	ピ（トーン）
053	ピピ（トーン）
054	ピピピ（トーン）

※ 027～050, 055～080は使用できません。

MEMO

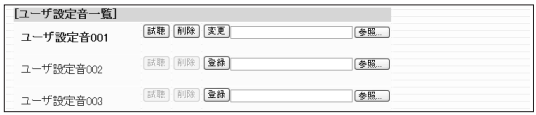
すべての音声データは、本製品のスピーカーで試聴できます。設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックして、［音声情報］画面から試聴できます。DIPスイッチの設定によっては、試聴できません。〈P.15〉

■音声ファイルを追加・変更するには

おサイフケータイ検出時などに再生する音声を変更、追加することができます。

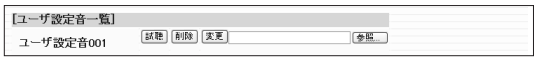
1. 音声ファイルをパソコンに用意します。
ユーザが追加できる音声フォーマットは以下の通りです。1つの音声ファイルの最大サイズは128KBです。
・WAVEフォーマット（拡張子.wav）
・1チャネル（モノラル）
・サンプルデータ 16bit
・サンプリング周波数 8kHz, 12kHz, 16kHz

2. 設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックします。
［ユーザ設定音一覧］画面が開きます。



3. パソコンに保存した音声ファイルを選択します。
ユーザ設定音001～020のいずれかの［参照］ボタンをクリックします。
［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、パソコンに保存した音声ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

4. ［変更］ボタンをクリックします。



5. すべてのランプが同時点滅して、音声ファイルの書き込みが行われます。

重 要

書き込み中は絶対に電源を切らないでください。すべての音声ファイルが破壊される可能性があります。〈P.70〉

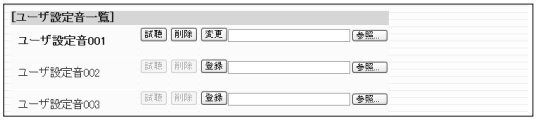
MEMO

ユーザ設定音の初期化には数秒から10数秒かかります。ボタンをクリックしたあと、終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

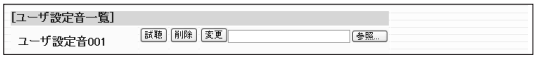
■音声ファイルを削除するには

ユーザ設定音で登録している音声ファイルを削除することができます。

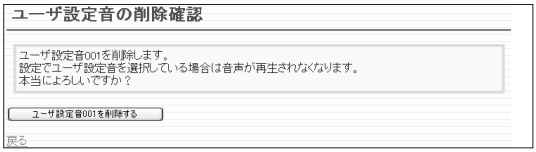
1. 設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックします。
［ユーザ設定音一覧］画面が開きます。



2. 登録しているユーザ設定音の［削除］ボタンをクリックします。



3. ［ユーザ設定音の削除確認］画面が開きます。
［ユーザ設定音を削除する］ボタンをクリックします。



4. ステータスランプが点滅して、音声ファイルの削除が行われます。

重 要

削除中は絶対に電源を切らないでください。すべての音声ファイルが破壊される可能性があります。〈P.70〉

MEMO

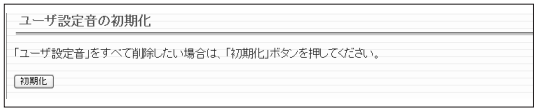
ユーザ設定音の初期化には数秒から 10 数秒かかります。ボタンをクリックしたあと、終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

■ユーザ設定音の初期化

ユーザ設定音をすべて削除することができます。

※ 標準の音声は消去されません。

1. 設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックします。
［音声情報］画面が開きます。［ユーザ設定音の初期化］の［初期化］ボタンをクリックします。



2. ［ユーザ設定音の初期化確認］画面が開きます。
［ユーザ設定音を初期化する］ボタンをクリックすると登録しているユーザ設定音001から020がすべて消去されます。

MEMO

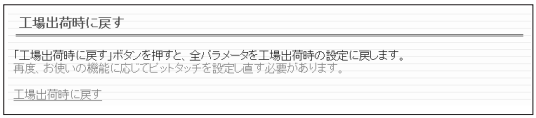
ユーザ設定音の初期化には数秒から10数秒かかります。ボタンをクリックしたあと、終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

5-10 初期化するには

何らかのトラブルがあった場合、設定/ログを工場出荷時に戻すことができます。

■設定ページから初期化する方法

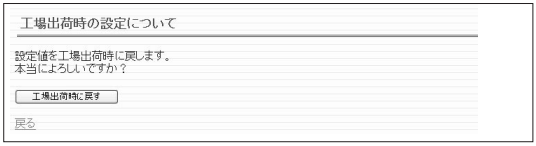
1. 設定ページ左側の［設定管理］ボタンをクリックします。
［設定管理］画面が開きます。［工場出荷時に戻す］のボタンをクリックします。



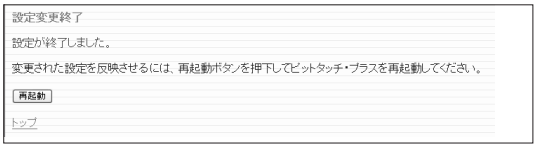
重 要

IP アドレスなどのネットワーク設定も初期化されます。
初期化のあとは、「設定ページを開くには」〈P.20〉を参照して本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行ってください。

2. ［工場出荷時の設定について］画面が開きます。
［工場出荷時に戻す］ボタンをクリックすると、設定した内容がすべて破棄され、工場出荷時の状態に戻ります。



3. ［設定変更終了］画面が開きます。
「設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。



4. 設定を有効にするために、［再起動］ボタンをクリックして本製品を再起動します。

MEMO

設定ページから初期化した場合、ログは削除されません。
音声は初期化しても削除されません。ユーザ設定音を削除したい場合は、「音声ファイルを削除するには」〈P.61〉「ユーザ設定音の初期化」〈P.62〉を参照してください。

■メインテナンス起動で初期化する方法

1. メインテナンス起動で起動します。〈P.67〉

2. ステータス切り替えボタンを５秒以上押し続けます。

3. ランプが緑色ですべて同時に素早く点滅し、設定初期化音「ピー」が鳴ります。

※ DIPスイッチ３の設定によっては音が鳴りません。〈P.15〉

重 要

IP アドレスなどのネットワーク設定も初期化されます。
初期化のあとは、「設定ページを開くには」〈P.20〉を参照して本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行ってください。

MEMO

メインテナンス起動で初期化した場合、ログは削除されます。
音声は初期化しても削除されません。ユーザ設定音を削除したい場合は、「音声ファイルを削除するには」〈P.61〉「ユーザ設定音の初期化」〈P.62〉を参照してください。

5-11 本製品のファームウェアを更新するには

新しいバージョンのファームウェアがリリースされた場合、次の手順で本製品内部のファームウェアを更新することができます。

■パソコンの準備/本製品とパソコンとの接続

ファームウェアの更新はパソコンから行います。本製品とパソコンが接続されていない場合は、「パソコンの準備」〈P.18〉、「本製品の接続」〈P.19〉に従って接続してください。

MEMO

ファームウェアの入手については、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

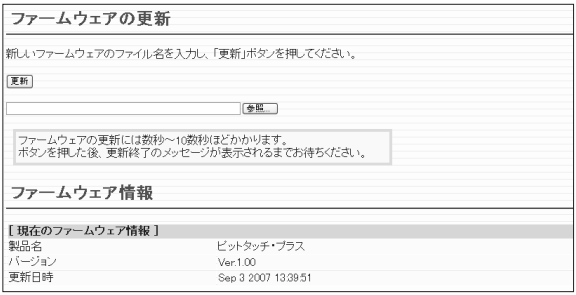
■ファームウェアの更新作業

重 要

ファームウェアの更新中は、絶対に本製品の AC アダプタや LAN ケーブルを抜かないでください。本製品の故障の原因となります。

1. Web ブラウザを起動し、本製品の設定ページを開きます。

2. 設定ページ左側の［ファームウェア］ボタンをクリックします。
［ファームウェアの更新］画面が表示されます。



3. ［参照］ボタンをクリックします。［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、用意したファームウェアのファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。

4. ［更新］ボタンをクリックします。
ファームウェアの更新が始まります。

本製品へファームウェアを更新している間は、すべてのランプが緑色で同時に点滅します。この状態のときに本製品の電源を OFF にすると、二度と本製品が起動しなくなる恐れがあります。ランプの点滅が終了し、設定ページに終了のメッセージが表示されるまで、電源を OFF にしないようにご注意ください。

更新終了までは、多少時間がかかることがあります。終了のメッセージが表示されるまで、そのままの状態で待ちます。

5. 更新終了のメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。
本製品を再起動します。

第6章 付録
6-1 メインテナンス起動について

本製品には、通常起動のほかに、メインテナンス起動があります。ここではメインテナンス起動について解説します。

■メインテナンス起動でできること

- 設定/ログの初期化ができます。※1〈P.68〉
- 設定によらず、固定IPで起動することができます。〈P.68〉
- 設定カードの読み込み、書き出しができます。※2
- 設定ページを開くことができます。

※1 音声データは初期化されません。

※2 設定カード（別売り）に本製品の設定を読み込んだり、設定カードから設定を書き込むことができます。同じ設定を複数台の本製品に書き込む際に便利です。詳しくはお買い求めになった販売元へお問い合わせください。〈P.7〉

MEMO

メインテナンス起動でできないこと
「ケータイアクセスモード」「ケータイサーバアクセスモード」「勤怠 / 入退管理モード」としての機能は動作しません。

■メインテナンス起動するには

1. 本製品の電源を切ります。

2. DIPスイッチ1をONにします。

3. 本製品の電源を入れます。
※ ステータス切り替えボタンを押しながら起動しないでください。〈P.64〉

4. ステータス4のランプが点灯します。
※ ネットワークが使用できるときは、ランプが緑色で点灯します。使用できないときは、ランプが赤色で点灯します。
※ 全てのランプが赤色で点滅する場合は、設定が不正です。正しく設定をするか、初期化〈P.63〉してください。
※ 起動音は鳴りません。

■設定/ログの初期化をするには

「5-10 初期化するには」〈P.63〉を参照してください。

■固定IPアドレスで起動するには

設定によらず、固定IPアドレスで本製品を起動することができます。IPアドレスが分からなくなった場合などに便利です。

1. 本製品の電源を切ります。

2. DIPスイッチ1と2をONにします。
DIPスイッチの設定については〈P.15〉を参照してください。

3. 本製品の電源を入れます。
※ ステータス切り替えボタンを押しながら起動しないでください。

4. 以下のIPアドレスで起動します。
IPアドレス：192.168.1.2
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.1.1
プライマリDNS：なし
セカンダリDNS：なし

6-2 トラブルシュート

■本体のトラブル

●ステータスランプが点灯しない

→ACアダプタの接続を確認してください。ACアダプタはコンセントと本製品に正しく差し込まれていますか？〈P.19〉

→電源を入れ直して10秒程度待ってください。

→本製品付属のACアダプタを使用していますか？〈P.7〉

ACアダプタは本製品付属のものをお使いください。付属品以外をご使用になると、故障の原因となることがあります。

→本体底面のDIPスイッチ2がONの場合はステータスランプが点灯・点滅しません。DIPスイッチをOFFにしてください。DIPスイッチの変更は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。起動時に有効になります。〈P.15〉

●ステータス4のランプのみが点滅をする

→メインテナンス起動で起動しています。本製品の電源を切り、本体底面のDIPスイッチ1をOFFにして、再度電源を入れてください。〈P.15〉

●すべてのランプが赤色点滅する

→設定が正しくない場合があります。設定を確認してください。

→電源を入れ直してください。

→本製品を初期化してください。メインテナンス起動で起動し、ステータス切り替えボタンを設定初期化音「ピー」が鳴るまで（約5秒）押してください。設定・ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.64〉

ただし、すべての設定が初期化されてしまいますので、再度必要な設定を行ってください。〈P.16〉～

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

●すべてのランプが緑色で点滅する

→ファームウェア更新・初期化など本体が更新されているときは、すべてのランプが緑色で点滅します。故障ではありません。

→起動時に緑色で点滅する場合は、点滅が終了したら、再度電源を投入してください。それでも起動時に緑色で点滅する場合は、お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

→起動時に緑色で点滅し、点滅が止まらない場合は、故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

●電源を入れるとステータス1とステータス4のランプが緑色もしくは赤色で点滅する

→本製品の電源を入れ直してください。

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

●ステータスランプが赤色で点灯/点滅する

→「通信できない」を参照してください。〈P.71〉

●起動しない

→DIPスイッチの設定によってはステータスランプが点灯しない場合や音声が再生しない場合があります。〈P.15〉

→本製品の電源が入っているか確認してください。〈P.11〉

→本製品の電源を入れ直してください。

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

●ステータス切り替えボタンを押してもステータスランプが切り替わらない

→設定内容によっては、ステータス切り替えボタンを押してもステータスランプは切り替わりません。

→設定モードがケータイサーバアクセスモードか勤怠/入退管理モードであることを確認してください。

→DIPスイッチ1がOFFで通常起動になっていることを確認してください。

→設定ページで[ステータス切り替え設定]の「ステータス切り替え」を「使用しない」と選択した場合、ステータスランプは切り替わりません。〈P.38〉〈P.47〉

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

■音声のトラブル

●音が鳴らない

→本製品の電源が入っているか確認してください。〈P.11〉

→本体底面のDIPスイッチ3がONの場合は音が鳴りません。DIPスイッチの変更は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。起動時に有効になります。〈P.15〉

●音声ファイルの書き込み/削除に失敗する

→音声ファイルは正しいですか？追加できる音声フォーマットかどうかを確認してください。〈P.60〉

→音声ファイルを書き込み中または削除中に電源を切ると、すべてのユーザ設定音声データが壊れる可能性があります。この場合、次に起動したときには、すべてのランプが緑色で点滅し、ユーザ設定音声が初期化されます。

→本製品に標準で用意されている音声ファイルをご利用ください。

→音声ファイルを更新し直してください。

■設定ページ関連のトラブル

●設定ページを開けない

→本製品とパソコンがLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。〈P.19〉

→パソコンのIPアドレスを確認してください。本製品の工場出荷時のIPアドレスは、「192.168.1.2」です。パソコン側のIPアドレスが自動取得になっていたり、「192.168.1.xx」以外に設定されていると、設定ページを開けません。

パソコンのIPアドレスを変更してから、Webブラウザでもう一度設定ページを開いてください。〈P.18〉

●設定が有効にならない

→内容を変更したら、「設定」ボタンをクリックした後、「再起動」をしてください。「設定」ボタンをクリックしないと設定が保存されません。「再起動」ボタンをクリックしないと設定が有効になりません。

●設定ページにログインできない

→ユーザ名、パスワードが正しく入力されているかを確認してください。〈P.20〉

→どうしてもログインできない場合は、本製品を初期化してください。メインテナンス起動で起動し、ステータス切り替えボタンを初期化音「ピー」が鳴るまで（約5秒）押してください。設定・ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.64〉

ただし、すべての設定が初期化されてしまいますので、再度必要な設定を行ってください。〈P.16〉～

●パスワードを忘れた

→パスワードを忘れて設定ページを開けない場合は、本製品を初期化してください。メインテナンス起動で起動し、ステータス切り替えボタンを初期化音「ピー」が鳴るまで（約5秒）押してください。設定・ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.64〉

ただし、すべての設定が初期化されてしまいますので、再度必要な設定を行ってください。〈P.16〉～

■通信のトラブル

●通信できない/ステータスランプが赤色で点灯または点滅する

→背面のLANポートの緑色のランプが点灯していますか？〈P.13〉

→ネットワーク設定〈P.49〉、サーバ設定、プロキシ設定〈P.36〉〈P.45〉を確認してください。

→ログを確認してください。

●SSLサーバ(https://…)と通信できない

→SSLサーバ認証する場合は、時刻設定を行ってください。

→ネットワーク設定〈P.49〉、サーバ設定、プロキシ設定〈P.36〉〈P.45〉を確認してください。

■FeliCa機能利用時

●おサイフケータイでの読み出しに失敗する

→携帯電話はおサイフケータイですか？ご確認ください。

→おサイフケータイの場合は、携帯電話のFeliCaマークの位置を確認してください。他の部分を本製品にかざしても、正しく検出されません。お使いのおサイフケータイの取扱説明書をご確認ください。

→おサイフケータイの場合は、携帯電話のICカードロックの設定を確認してください。ロックがONになっていると、本製品にかざしても検出されません。お使いのおサイフケータイの取扱説明書をご確認ください。

→メインテナンス起動で起動していませんか？
メインテナンス起動〈P.67〉では、おサイフケータイの読み出しに失敗します。ステータスランプをご確認ください。
→勤怠/入退管理モードの場合は、システムコード〈P.44〉を設定している場合におサイフケータイの読み出しに失敗する場合があります。設定を変更してください。
→FeliCa読み取り部に障害物はありませんか？
障害物を取り除いてください。
→近くに別のFeliCaリーダー/ライターはありませんか？
誤動作する可能性があります。離してご使用ください。
→おサイフケータイの電源を一度切ってから入れ直してください。
→おサイフケータイのバッテリーを一度はずしてから再度電源を入れ直してください。
→NTTドコモ FOMA 901iシリーズ以前のおサイフケータイでは「ブラウザ起動」「トルカ取得」はできません。
対応機種については弊社ホームページFAQを参照してください。

■パソコンに関すること

●本製品を設定後、インターネットに接続できなくなった
→本製品の設定ページを開くために、パソコンのIPアドレスを変更した場合は、そのままではインターネットに接続できません。もとの設定に戻す必要があります。必要な設定は、インターネットプロバイダから配付されている資料をご覧ください。

■ファームウェアに関すること

●ファームウェアを更新できない
→正しいファームウェアファイルを選択しているか、ファームウェアファイル名を確認してください。〈P.65〉
→再度ファームウェアファイルを入手し直してください。〈P.65〉

■トルカ/auケータイクーポンについて

●トルカについて知りたい
→NTTドコモの技術情報をご覧ください。（2008/03 現在）
http://www.nttdocomo.co.jp/service/imode/make/content/toruca/

●auケータイクーポンについて知りたい
→KDDIの技術情報をご覧ください。（2008/03 現在）
http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/keitai_coupon/index.html

■FeliCa

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaは、次のような特徴を持っています。

・強固な通信セキュリティ

・1枚のカードに複数のアプリケーションを搭載可能

・高速なデータ処理

■おサイフケータイ

「おサイフケータイ」は、非接触式ICカード技術「FeliCa」を内蔵したNTTドコモ、au、SoftBankの携帯電話です。携帯電話を読み取り用の機器にかざすだけで、FeliCaの機能を実行することができます。

■キャリア

一般には通信キャリアなどとも言い、通信サービスを提供する事業者のことを指します。本取扱説明書では、NTTドコモ、au、SoftBank等、携帯電話事業者のことをキャリアと記載しています。

■NTPサーバ（Network Time Protocol サーバ）

「NTPサーバ」とは、ネットワーク経由で、コンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するサーバです。

本製品がこのサーバを参照することで、本製品の時刻を正しい時刻に合わせることができます。

■HTTP認証

Webサーバによっては、アクセス時にユーザIDとパスワードによる認証を必要とするものがあります。

本製品の設定ページもHTTP認証を用いており、工場出荷時はユーザID「admin」、設定パスワード「default」の入力を必要とします。設定パスワードを「default」以外の値に変更するまでは初期設定画面以外のページを利用できません。ケータイサーバアクセスモード、勤怠/入退管理モードで通信するWebサーバがHTTP認証を必要とする場合、「サーバ設定」画面で設定を行うことができます。サーバの仕様にあわせて設定してください。

■プロキシ(Proxy)

Webサーバへアクセスする際に、HTTP接続を中継するサーバです。直接Webサーバにアクセスできない(もしくは直接アクセスしない)場合に、プロキシを経由して接続することができます。ケータイサーバアクセスモード、勤怠/入退管理モードでプロキシを必要とする場合、「サーバ設定」でプロキシ設定を行うことができます。環境に応じて設定してください。

■SSL通信(Secure Socket Layer)

インターネット上で暗号化通信、通信相手認証を実現するネットワークプロトコルです。ケータイサーバアクセスモード、勤怠/入退管理モードでWebサーバとSSL通信を必要とする場合、「サーバ設定」で設定を行うことができます。環境に応じて設定してください。

■ファームウェア

ROMやフラッシュメモリ上に搭載され、ハードウェアの基本的な制御を行なうために機器に組み込まれたソフトウェアです。

本製品の制御もファームウェアにより行われています。機能追加などは、ファームウェアの更新により実施されることがあります。

6-4 サポートについて / 製品仕様

■サポートについて

●保証について

保証期間中の故障につきましては、本取扱説明書巻末の「保証書」の記載にもとづき修理いたします。

（詳しくは「保証書」の保証規定をご覧ください。）

●お問い合わせ先

お買い求めになった販売元にお問い合わせください。

■製品仕様

ハードウェア仕様	
適応カード	FeliCa
インタフェース	LAN ポート× 2： RJ-45 型 8 極モジュラコネクタ 10Base-T（IEEE802.3 準拠）/ 100Base-TX（IEEE802.3u 準拠） Auto MDI/MDI-X ステータス切り替えボタン DIP スイッチ（4 極） メインテナンス用ポート
動作環境	0 ～ 40℃ / 30 ～ 80%RH（結露なきこと）
保存環境	－ 20 ～ 60℃ / 30 ～ 80%RH（結露なきこと）
電源	AC 100V（アダプタ使用）
外形寸法	75（W）× 113.5（H）× 24.7（D）（mm） （突起部を含まず）
質量	約 110g（本体）
スピーカー	モノラルスピーカー（音声出力可）
表示	ステータスランプ× 4

6-5 使用しているソフトウェアについて

本製品ソフトウェアのSSL機能はOpenSSLプロジェクトのオープンソースである
OpenSSL Toolkitをベースとしています。

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to.  The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 *    must display the following acknowledgement:
 *     "This product includes cryptographic software written by
 *      Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 *    The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 *    being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 *    the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 *     "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed.  i.e. this code cannot simply be
 * copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 *//
```

```
* ====================================================================
* Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
*    the documentation and/or other materials provided with the
*    distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
*    software must display the following acknowledgment:
*    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
*    endorse or promote products derived from this software without
*    prior written permission. For written permission, please contact
*    openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
*    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
*    permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
*    acknowledgment:
*    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* ====================================================================
* * This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/
```

ピットタッチ・プラス 取扱説明書

発行日：2008年4月　第2版
発　行：株式会社ビー・ユー・ジー
〒004-0015　札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1番14号